



アツモリソウ

一度は実物を見てみたい植物というのがある。この仕事をしていれば、誰しも一つや二つはそういう動植物があるのではないだろうか。

私の場合、それはレブンアツモリソウ、クマイガイソウなどラン科アツモリソウ属であった。アツモリソウ属の特徴はなんといっても袋状の唇弁であろう。ぶっくら膨らんだ唇弁を平敷盛や熊谷直実の羽織った母衣に見立てたことから、その名前が付いたと言う。一度は潰してみたというよからぬ欲求をも起こさせる。花の時期は6月～7月頃である。

さて、ある日、ある時、ある場所を歩いていると、崩壊した斜面端に気になる植物があった。そやつだけ周りに溶け込んでいないというか、存在をアピールしている気がしてふと目にとまった。そしてよく見ると、アツモリソウの葉にとてもよく似ていた。

ある日のフィールド・ノートから

理想と現実

しかし、いくら図鑑とよく似ていても、じつは違う植物かもしれないし、なにより憧れの君がこんな普通な場所に生えていいのか?という妙な意識もあって、花の時期まで待つことにした。

数週間後、目的の場所へ言ってみると、見事な花を付けたアツモリソウがあった。アツモリソウは図鑑によると、山地の草原に生育し、葉は長楕円形で、紅い花を付けると書かれている。実物を見て感じたことは、林道脇の斜面という思った以上に普通の場所に生育し、写真ほど花が紅くなかったこと、併せて葉の質感が想

像していたものと全く違った、毛が多かったことなどが挙げられる。生育場所については、あまり人の踏み入らない深山を想像していたので、かなり拍子抜けした。花の色は個体によってまちまちだと思うので、これは四の五のいってもしようがない。しかし、葉と毛には驚いた。勝手にしっとり滑らか清楚?な葉を想像していたのだが、思っきりカサカサな洋質紙でかつ思った以上に毛が多い。様々な事柄において、見事に想像を裏切られた植物であった。

この事は、これまで図鑑の情報で思い描いていた多くの植物が実際は微妙に違うと言うことを再確認させられる出来事であった。今後は、様々な場所へ足を運び、多くの植物を細かく見て行きたいと思う。

(北海道支社自然環境研究室・岡田操)

ご意見 ご質問

お待ちしております

素朴な疑問やご感想など下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。

E-mail: nl-info@chiikan.co.jp

編集後記

3月も半ばですが、札幌では道沿いにまだ高く雪が積まれています。夜な夜な除雪音が鳴り響き雪を積んだトラックが川の近くを何度往来しても排雪が追いつかないのが、世界にも例を見ない多雪都市札幌の姿なのです。

昨夜、支社の前の道路に数台の大型トラックが横付けされました。今日はどうなったかと楽しみに出社したら、一掃とはいかないまでも車道の幅員が1車線分も広くなりました。雪山の高さも人の背までには低くなって明かりもよく取れ、開放感をとり戻して一気に春気分です。冬の現場では『北の零年』の頃の先人に呆れられそうほどカイロ貼りまくりだったへなちょこ道民ですが、黄砂にもシラカバ・牧草花粉にもめげず新たな調査シーズンに突入したいと思います。

(釣谷佳子)

News Letter NO.24 2005年3月

【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚 敏
編集: 中山香代子・鈴木志保子・釣谷佳子・岡崎康代・高岡由紀子

東京本社 〒154-0015
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル
TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701
営業窓口.....鈴木志保子・高岡由紀子
東北分室 TEL 024-515-1105 / FAX 024-515-1106
営業窓口.....浅尾勝彦
大阪支社 TEL 072-684-3182 / FAX 072-684-3184
営業窓口.....中山香代子
北海道支社 TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021
営業窓口.....中島正雄
九州支社 TEL 092-833-5270 / FAX 092-833-5271
営業窓口.....井原寛人